

# 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	すずかけ保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 三橋 教雄	定員（利用人数）：	60（60）名
所在地：	247-0008 神奈川県横浜市栄区本郷台1-14-3		
TEL：	045-894-5552	ホームページ：	<a href="https://www.suzukake-h.com/">https://www.suzukake-h.com/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	学校法人 三橋学園		
職員数	常勤職員： 19名	非常勤職員：	20名
専門職員	保育士 27名	栄養士	0名
	看護師 1名	調理員	5名
	事務員 4名		
施設・設備の概要	居室数 保育室2室 調理室1室 調乳室1室 事務室1室 プレイルーム1室	設備等	園庭 トイレ5室 エレベーター 駐車場

## ③理念・基本方針

人の和の中で豊かな人間性を持った子どもを育成します。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

すずかけ保育園は、JRの本郷台駅より徒歩10分程度で周囲は閑静な住宅街です。園は3階建てで、1階はプレイルームと称してスペースを広くとった遊戯室になっており、2階は2歳児の保育室と事務室及びテラスを利用した園庭、3階は0、1歳児の保育室となっています。2017年4月に横浜保育室を経て、認可保育所として開所しました。0～2歳児が対象で定員は60名です。園の周囲は豊かな自然や地域との触れ合いを感じることができる環境です。園舎は日当たりが良く子どもたちは近隣の公園や園庭で思いきり体を動かし、のびのびと遊んでいます。夏には噴水マットやシャワープールなどで水遊びを楽しんでいます。保育理念は「人の和の中で豊かな人間性をもった子どもを育成します」を掲げ、「思いやりは、人と人とのさまざまなお付き合いの中から生まれるもの」だと考え、保育目標として「元気にあいさつができる子ども」「人と触れ合う中で思いやりの心が育つ」「友だちといろいろな遊びを経験をする」「自分で考え、行動できるようになる」の4つを掲げています。また、園では人生の中で最も大切な時期である乳児の保育について、子ども一人ひとりの生理的または心理的欲求を満たして、安心して生活できるよう心掛けています。職員は、遊びを通じて子どもの「～したい」という気持ちを尊重し、肯定的に対応して気持ちに寄り添う保育を心掛けています。子どもの主体性を大切にしながら、自然に触れ、健康な心と身体と豊かな感性を育むことを大切にしながら日々の保育を実践しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月26日（契約日）～ 2024年2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2019 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆「子ども一人ひとりの個性を大切にした保育」に力を入れています

園では、0～2歳児までの園という特徴を活かし、家庭的な雰囲気の中で、子どもの主体性と自己肯定感を育むことを大切にしています。一人ひとりの個性を尊重し子どもが興味関心を持っていることを職員が展開して保育を実施しています。子どもの主体性と共に職員の創造性を認め、楽しく活動しています。子ども一人ひとりの言葉や表情などから子どもの思いを受け止め、子どもが自発的に園生活を楽しめるよう支援しています。保育士との応答的な関わりの中で信頼関係を築き、自分の思いを素直に表現し、生活リズムや基本的な生活習慣を身に付けています。発育発達に合った遊びや活動を通して芽生え始めた友達との関係性を築いていきます。

##### ◆将来にわたる人材確保・育成に向けた計画的な取り組みを期待します

キャリアパスは、階層別に期待する職員像を明らかにし、求められる知識・技能を示しています。これに沿って職員は、外部研修に参加するほか、自己研鑽に努めるなど、職業能力の向上を図り、結果的に全体の保育水準の底上げにつながっています。さらに、園として取り組むテーマを具体的に設定した年間の研修計画を作成し、園全体で考え学ぶ機会を設けることで、保育水準の向上を図っています。しかし、当園では職員構成のうち中間層が薄いことが課題となっています。今後は、将来にわたる人材育成とともに、人材確保の計画も併せて作成されることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

一つ一つの課題に取り組む中で難しく思うところも多々ありましたが、その課題に向き合うことで職員一人一人の振り返りや学びに繋がったと思います。  
また職員間で疑問に思っていることを話し合い明らかにしたり、共通認識だと思っていたことが個々の捉え方が違っていたり、様々な視点から日々の保育の振り返りなど多くの気づきがありました。  
より良い保育に向かうための共通理解が深まり、方向性の確認ができました。  
まだまだ不足している点が多くありますが、不足部分についての改善はこれから取り組むとともに、保育園に求められる課題に向き合ってまいります。  
ご協力をいただきました保護者の皆さま、関係者各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり